

食の作り手 思いを伝える

スマイルマルシェ 南都由美さん
＝下仁田町＝



マルシェや講座を通じて住民や商業者をつなぐ南都さん

住民同士出会い 新しい動き生む

取材後記

人は他者と関わる中で気付きを得たり、何かを生み出したりしている。南都さんの講座をきっかけに、販路に困っていた農家の野菜を商店が扱うようになったり、来場した保育士とコーヒー店主の出会いから保育園出張喫茶が行われたりと新しい動きを生んでいる。

過疎化が進む中山間地域では、地域防災などの観点からも住民間の連携が求められている。今後も活動を見守っていく (丸山卓郎)

人と人つなぎ町活気

美さん(57)は社長夫人として事業を支えながら、食を通じて住民や商業者をつなげる活動に取り組む。「私と関わる全ての人に笑顔になつてほしい」。持ち前の

「夫は朝から晩まで仕事をしていたら、私も一緒に働くことにした。2018年に始めたのが「ママなんちゃん納豆講座」だった。本業の人脈を生かし、京都にある酢の醸造元の店主

つなげる つなぐ ⑬ 認め合う社会へ

町の納豆屋から急成長し、全国の百貨店やスーパー(下仁田町)。南都由美さん、全国の百貨店やスーパー(下仁田町)。南都由美さん

明るさで中山間地域の小さな町を元気づけている。活動の一つが、地域の商店を募って店舗駐車場を開く「スマイルマルシェ」。近所の花卉農家を応援しようというアジサイの即売会を開催している。思いを知ってほしいという。「スーパーでは店員に聞いても商品の詳細が分からず、セルフレジによってひと言も話さずに買い物できるようになった。マルシェでは店と客、店同士の交流を楽しんでほしい」。今こそ地域に溶け込んでいる南都さんだが、28歳で千葉県から嫁いできた頃は疎外感を感じることも少なくなかった。「夫は朝から晩まで仕事をしていたら、私も一緒に働くことにした。2018年に始めたのが「ママなんちゃん納豆講座」だった。本業の人脈を生かし、京都にある酢の醸造元の店主



上毛新聞に載せていただきありがとうございました!

私たちが大切にしている「繋げ繋ぐ」のコーナに取り上げて頂き、大変光栄なことだし、顔晴、てきたこと。お天り様が見ている下したのかな〜の汁からも皆様に生かされながら高いをさせて頂きまし。



2024.9月



創業61年 つなぐ伝統食 下仁田納豆

下仁田納豆 ホームページ



食の作り手 思いを伝える

スマイルマルシェ 南都由美さん
＝下仁田町＝



マルシェや講座を通じて住民や商業者をつなぐ南都さん

住民同士出会い 新しい動き生む

取材後記

人は他者と関わる中で気づきを得たり、何かを生み出したりしている。南都さんの講座をきっかけに、販路に困っていた農家の野菜を商店が扱うようになったり、来場した保育士とコーヒー店主の出会いから保育園出張喫茶が行われたりと新しい動きを生んでいる。

過疎化が進む中山間地域では、地域防災などの観点からも住民間の連携が求められている。今後も活動を見守っていく (丸山卓郎)

人と人つなぎ町活気

美さん(57)は社長夫人として事業を支えながら、食を通じて住民や商業者をつなげる活動に取り組む。「私と関わる全ての人に笑顔になつてほしい」。持ち前の根底にあるのは、作り手

交流を楽しんでほしい。今こそ地域に溶け込んでいる南都さんだが、28歳で千葉県から嫁いできた頃は疎外感を感じることも少なくなかった。「夫は朝か

立ちする。私の第一のステージを始めよう。自ら地域と関わっていく決意を固め、休憩室を会場に2018年に始めたのが「ママなんちゃん納豆講座」だった。本業の人脈を生かし、京都にある酢の醸造元の当主も増えたらうれしい」

町の納豆屋から急成長し、全国の百貨店やスーパーに販路を広げた下仁田納豆(下仁田町)。南都由美さん(57)は社長夫人として事業を支えながら、食を通じて住民や商業者をつなげる活動に取り組む。「私と関わる全ての人に笑顔になつてほしい」。持ち前の根底にあるのは、作り手

つなげる つなぐ 認め合う社会へ

明るさで中山間地域の小さな町を活気づけている。活動の一つが、地域の商店を募って店舗駐車場を開く「スマイルマルシェ」。近所の花卉農家を応援しようというアジサイの即売会を催す。思いを知ってほしいとの願い。「スーパーでは店員に聞いても商品の詳細が分からず、セルフレジによってひと言も話さずに買い物できるようになった。マルシェでは店と客、店同士の

ら晩まで仕事をしていた。保育園のお母さんたちの会話にも入れなかった。子どもだけが心の支えだった」そんな時、店の隣の空き店舗を従業員用の休憩室として借りることになった。「子どもはいつか独り

や日本一の目利きとされるかつお節問屋の社長らを招き、製品への思いを語ってもらっている。講演後には講師の製品と自社の納豆を使った手料理を振る舞い、参加者全員を紹介して交流を促している。



上毛新聞に載せていただきありがとうございました!

私たちが大切にしている「繋げ繋ぐ」のコーナに取り上げて頂き、大変光栄なことだし、顔晴、てきたこと。お天り様が見ている下したのかな〜の汁からも皆様に生かされながら高いをさせて頂きまし。

2024.9月



創業61年
つなぐ伝統食

下仁田納豆

下仁田納豆
ホームページ

